

不二精機株式会社 2020年第2四半期 決算説明資料



2020年8月

おことわり

この開示資料に掲載されている当社の将来に関する計画、戦略などの記述は、現在入手可能な情報による判断に基づいております。

さまざまな要因により、これらの計画などが変動する可能性があることをご承知おきください。

(金額は、百万円未満を四捨五入して記載しております)

2020年第2四半期実績



2020年第2四半期 損益概要(連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2019年(前期実績)		2020年(業績予想)		2020年(実績)					
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比		業績予想比	
							増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	3,327	100.0%	3,530	100.0%	3,201	100.0%	△126	△3.8%	△329	△9.3%
売上総利益	722	21.7%	825	23.4%	753	23.5%	31	4.3%	△72	△8.7%
営業利益	204	6.1%	213	6.0%	225	7.0%	21	10.3%	12	5.6%
経常利益	207	6.2%	197	5.6%	66	2.1%	△141	△68.1%	△131	△66.5%
親会社株主に 帰属する純利益	167	5.0%	172	4.9%	27	0.8%	△140	△83.8%	△145	△84.3%

※ 百万円未満を四捨五入して記載しております。

※「業績予想」は2020年2月14日に公表した予想値です。

・売上高は、精密成形品事業において、自動車用部品を中心に堅調に推移しましたが、精密金型事業において、新型コロナウイルスの影響で顧客との間の検収手続きに遅れが発生した(当事業では顧客に検収いただいた時点で売上を計上しております)ことなどで、前期を3.8%下回りました。

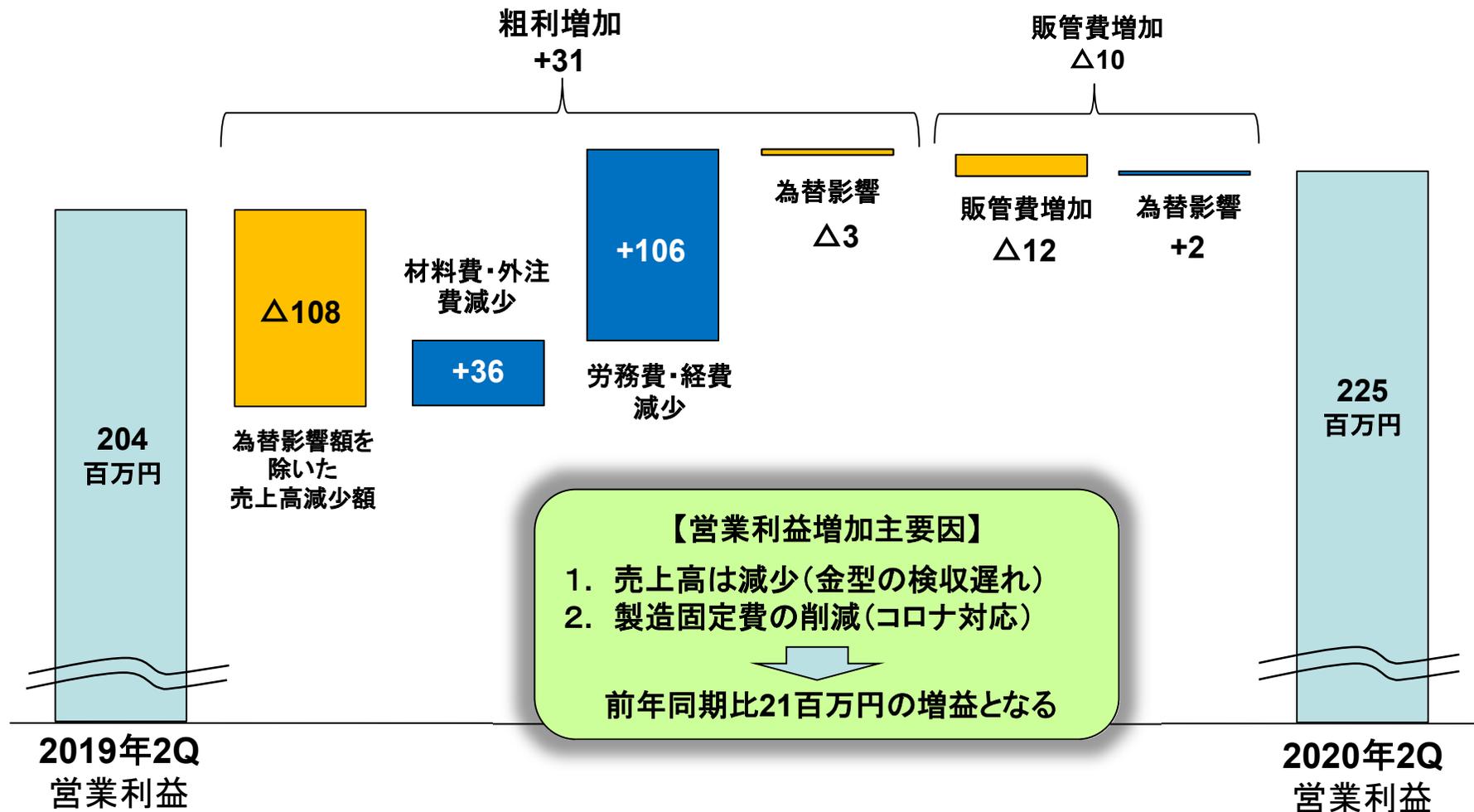
・営業利益は、新型コロナウイルスへの対応で固定費を削減したことなどで、前期比10.3%の増益、経常利益は、インドネシアルピアの急激な円高による為替差損133百万円が発生したことなどで、前期比68.1%の減益、純利益は、経常利益の減益により、前期比83.8%の減益となりました。

2020年第2四半期 営業利益(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

～対前年同期比増減要因

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートの差によるものです。



2020年第2四半期 経常利益(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

～対前年同期比増減要因

【経常利益減少要因】

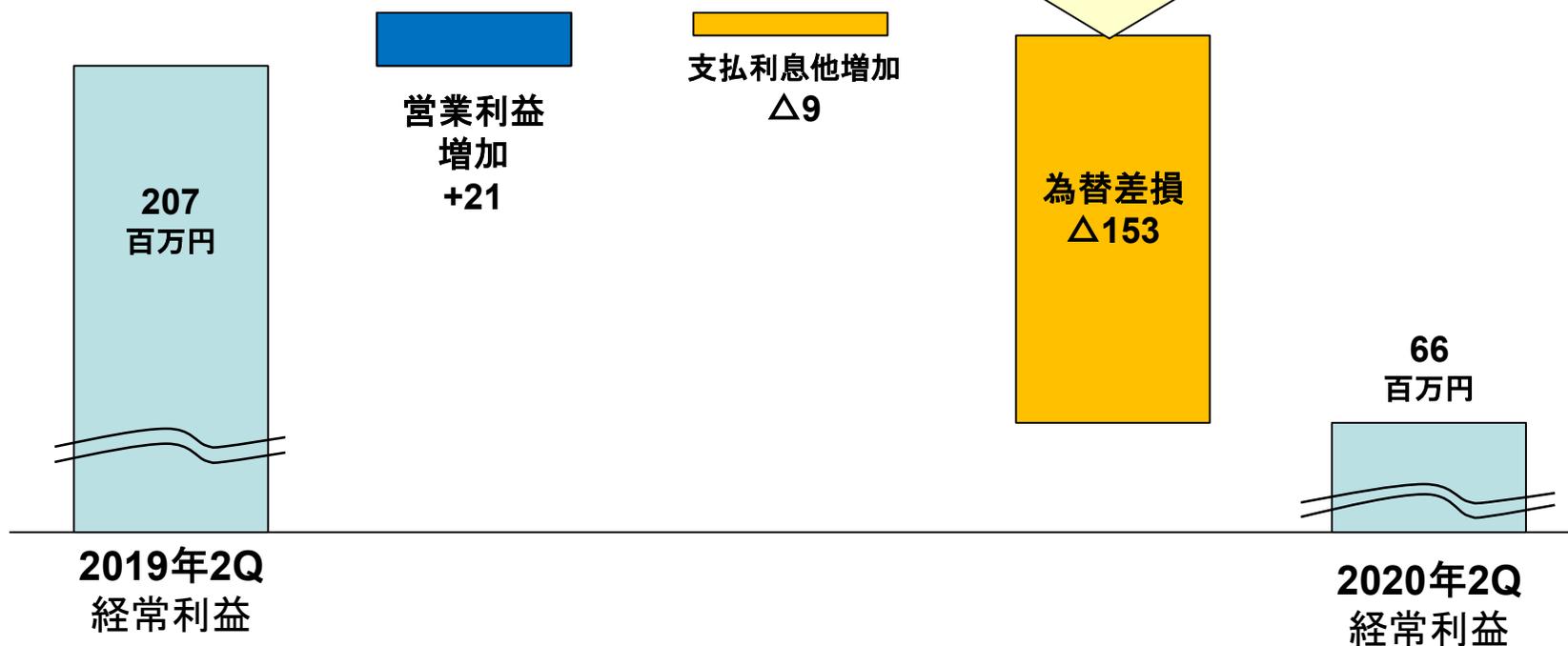
1. 営業利益は増加
2. 金利負担ほかの増加
3. 為替差損(評価損)の発生

前年同期比141百万円の減益となる

★為替差損 133百万円の発生(前期は差益20百万円)

主にインドネシア子会社での日本からの円建借入金の評価替によるものです。決算期の関係で急激な円高が進んでいた3月末の為替相場による評価ですが、直近では円安に反転しており、評価損は大幅に減少しております。

会計上の評価損であり、資金繰りへの影響はありません。



2020年第2四半期 連結貸借対照表の概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

		2019年12月(前期末)		2020年6月			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	主な増減要因
資産	流動資産	3,315	47.5%	3,002	44.9%	△313	資金効率化のため売掛債権圧縮
	固定資産	3,670	52.5%	3,691	55.1%	21	
資産計		6,985	100.0%	6,693	100.0%	△292	
負債	流動負債	3,349	47.9%	3,276	48.9%	△74	買掛債務の減少
	固定負債	1,997	28.6%	1,894	28.3%	△103	長期借入金の減少
負債計		5,346	76.5%	5,170	77.2%	△176	
純資産計		1,639	23.5%	1,524	22.8%	△115	円高による為替換算調整勘定の減少
負債・資本計		6,985	100.0%	6,693	100.0%	△292	

【取組課題】

- ① 売掛債権・棚卸資産の圧縮による有利子負債の削減
- ② 利益の蓄積による自己資本比率の向上

2020年度通期予想

2020年度通期予想(年初)は、新型コロナウイルスの影響による修正を予定しております。主要顧客の動向が不透明であり、現時点での予想が困難ですので合理的な算定が可能になり次第公表いたします。



☆為替レートの影響について

当社は中国、タイ、インドネシアに連結子会社があり、各社とも現地通貨での決算を行っており、為替レートの影響を受ける場合があります。

売上高、利益などについては、各連結子会社の2019年度の平均レートを基に2020年度連結業績予想を算出しております。

また、期末日のレートで連結各社とも外貨建て債権・債務の評価替えを行い、評価差損益を営業外損益に計上いたします。

(2019年度に発生した為替差損6百万円は上記の処理によるものです)

2020年2月14日公表の業績予想は、下記の各レートにより円換算しておりますが、為替レートの影響で、円換算額が変動する可能性があります。

◆2020年第2四半期は、133百万円の為替評価損が発生しております。

(1通貨当たりの円)

中国元	タイバーツ	インドネシアルピア
15.50	3.45	0.0076

☆精密金型事業の受注から売上計上(顧客での検収)について

当社グループで製造する精密金型事業の、受注から生産・売上計上(検収)に至るまでの期間は、おおむね5か月程度となっております。

* 精密金型事業の売上は、検収基準(顧客の検収時点)となっており、製品の完成後も顧客の検収のタイミングによって売上計上時期のずれが発生します。

2020年第2四半期までの精密金型事業の受注高および受注残高の実績推移は、以下の通りです。

2020年下期の売上高は、2020年第2四半期末の受注残高に影響されます。

	受注高(百万円)	前年同期比	受注残高(百万円)	前期末比
2020年2Q	1,613	97.0%	1,767	132.3%
2019年通期	2,715	93.6%	1,335	86.1%
2018年通期	2,901	138.1%	1,550	149.7%
2017年通期	2,102	125.8%	1,035	161.1%

2020年度 業績予想(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

2020年度予想(年初)は、下記の通り修正を予定しております。

(単位:百万円)

	2019年度実績			2020年度予想(年初)			2020年度予想の概要
	金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率	
精密金型事業	2,922	44.3%	23.5%	3,056	41.0%	4.6%	医療用関連分野金型の増加
精密成形品事業	3,671	55.7%	△3.0%	4,391	59.0%	19.6%	インドネシア・秋元精機分の自動車部品の増加
売上高	6,593	100.0%	7.2%	7,447	100.0%	13.0%	
売上総利益	1,456	22.1%	1.7%	1,688	22.7%	15.9%	精密成形品事業での稼働率向上による原価率の改善
販売管理費	1,069	16.2%	5.5%	1,263	17.0%	18.1%	中期的な競争力強化のため研究開発投資実施61百万円(前期比54百万円増)
営業利益	387	5.9%	△7.4%	425	5.7%	9.8%	増収による売上総利益の増加で研究開発費用ほかを吸収し増益を予想
経常利益	342	5.2%	28.1%	385	5.2%	12.6%	営業利益の増益により増益
親会社株主に 帰属する純利益	290	4.4%	62.9%	337	4.5%	16.2%	経常利益の増益により増益

【2020年度予想の変動リスク要因】

- ①新型コロナウイルスの世界景気への影響
- ②新興国通貨(インドネシアルピア)の為替変動

上記の2020年度予想(年初)は、新型コロナウイルスの影響による修正を予定しております。主要顧客の動向が不透明であり、現時点での予想が困難ですので合理的な算定が可能になり次第公表いたします。

直近6年間の業績・財政の推移

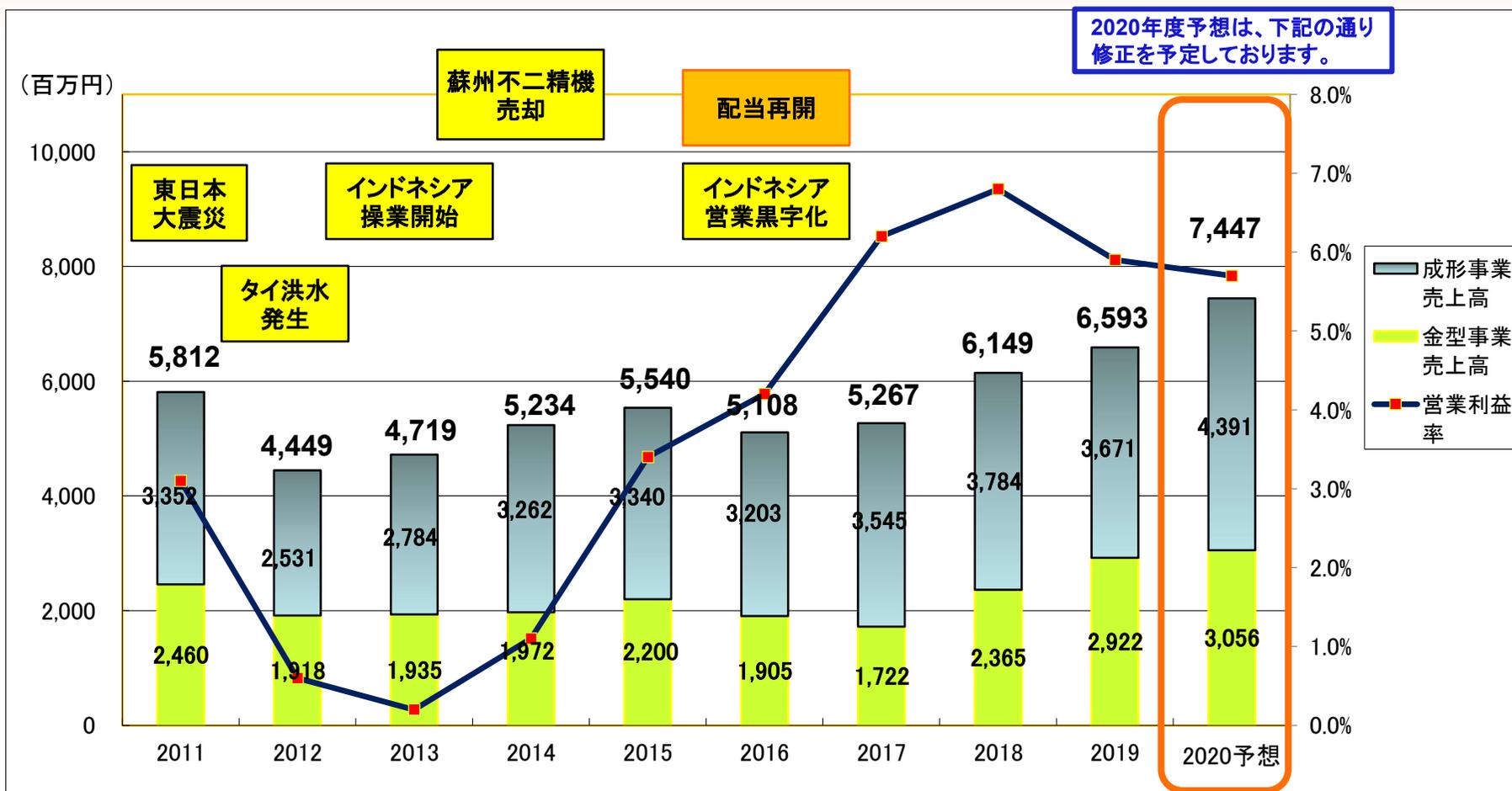
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

連 結	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高	5,234	5,540	5,108	5,267	6,149	6,593
営業利益	55	189	212	324	418	387
売上高営業利益率	1.1%	3.4%	4.2%	6.2%	6.8%	5.9%
経常利益	26	△53	56	141	267	342
当期利益	△257	△64	39	122	178	290
1株当たり配当(円)	0.00	0.00	3.00	3.00	4.00	5.00
総資産	6,411	5,951	5,193	6,068	6,192	6,985
純資産	1,250	1,114	877	1,116	1,380	1,639
自己資本比率(%)	19.5	18.7	16.9	18.4	21.8	23.1
1株当たり純資産(円)	146.81	130.77	115.48	147.03	174.48	204.34
自己資本純利益率(%) (ROE)	—	—	3.9	12.2	14.5	19.6
設備投資額	462	472	292	287	424	837
減価償却費	281	285	288	298	322	345

連結業績 推移(主要イベント)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



2015年から、精密成形品事業の売上高は自動車部品の比率が50%を超え、稼働率の安定化により営業利益が増加、さらに2013年に操業を開始したフジセイキインドネシアが2016年に営業黒字化を達成し、営業利益は売上高の増加に伴い、安定的な増益基調に転換しております。

上記の2020年度予想は、年初の時点でインドネシア子会社での増産などを想定したものでありましたが、新型コロナウイルスの影響による修正を予定しております。合理的な算定が可能になり次第公表いたします。

配当政策および配当額

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

2016年度において、操業開始後3年を経過したインドネシア子会社の営業損益の黒字化を機に13期ぶりに復配させていただいております。その後、東南アジア市場を中心とした自動車関連の精密成形品の受注拡大に伴い、グループ全体の業績が引き続き安定化する方向でありますので、株主還元を高めることが可能であると判断し、2018年度に1株あたり3円から4円への増配し、2019年度には1株あたり5円に増配しております。

2020年度は、1株あたり5円の配当実施を予想しております。

	2018年度	2019年度	2020年度
	実績	実績	予想
中間期	0.00	0.00	0.00
期末	4.00	5.00	5.00
年間	4.00	5.00	5.00

足元の状況と対応



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、グループ各社では従業員の健康確認を毎日実施し、本社へ報告する体制としており、感染による国内および海外の各工場の操業に影響は出ておりません。

自動車関連部品の成形品を製造しておりますタイおよびインドネシアの各工場では主要顧客の操業度との関係で、稼働率が計画を下回った今回の機会を活かし、稼働の回復時の増産に備えて平時には実施が難しい生産設備のメンテナンスや品質管理体制の強化のための従業員教育(右の写真はインドネシアでの研修の風景)を重点的に実施しております。



コロナ後に向けて



今回のコロナ禍をチャンスと捉え、以下の施策を実施して参ります。

1. 働き方改革

営業および管理部門を中心に、今回のテレワークの経験を活かし、業務の根本的な見直しとともに従来の時間を基準にした働き方に加え成果を評価する制度の構築を目指します。

2. デジタル化の推進

各種資料のデジタルデータ化、RPA(事務作業のロボット化)やWEB会議の活用、遠隔地の可視化などのデジタル技術によって、移動時間や経費削減、判断のスピードアップなど生産性の向上を目指します。

3. 新製品開発

成形品事業の競争力強化に向けて、電気自動車を視野にいれた自動車部品の新製品を従来の樹脂のノウハウに昨年グループ化した秋元精機工業の板金加工のノウハウを加え早急に開発して参ります。

高知宿毛工場の開設準備状況



■工場概要

- ・名称 高知宿毛工場
- ・住所 高知県宿毛市平田町
(高知西南中核工業団地内)
- ・操業 2022年12月開始予定
- ・業務 金型設計、金型部品加工
- ・用地 既存の不動産取得(2020年3月)

当社の精密成形品事業の競争力の源泉となる精密金型は、注射器などの医療用品用および自動車関連部品用を中心に、1972年に開設した愛媛県東温市の松山工場で製造しております。

2020年3月に既存の不動産(土地4,600㎡、建物590㎡)を取得いたしました新工場は、今後さらに技術者人材の採用が困難になることが想定される中で、高知県内の人材を安定的に確保することを目指す拠点と位置づけ、業務内容としては松山工場との連携のもと、第一段階でCADを使用した金型設計業務の一部を実施し、第二段階で金型の部品加工を実施することによって精密金型事業の納期対応力および収益性の向上を目指しております。

高知県内で採用した従業員の研修を松山工場で開始し、2021年の試験操業を経て2022年12月の本格操業開始に向けて準備を進めております。

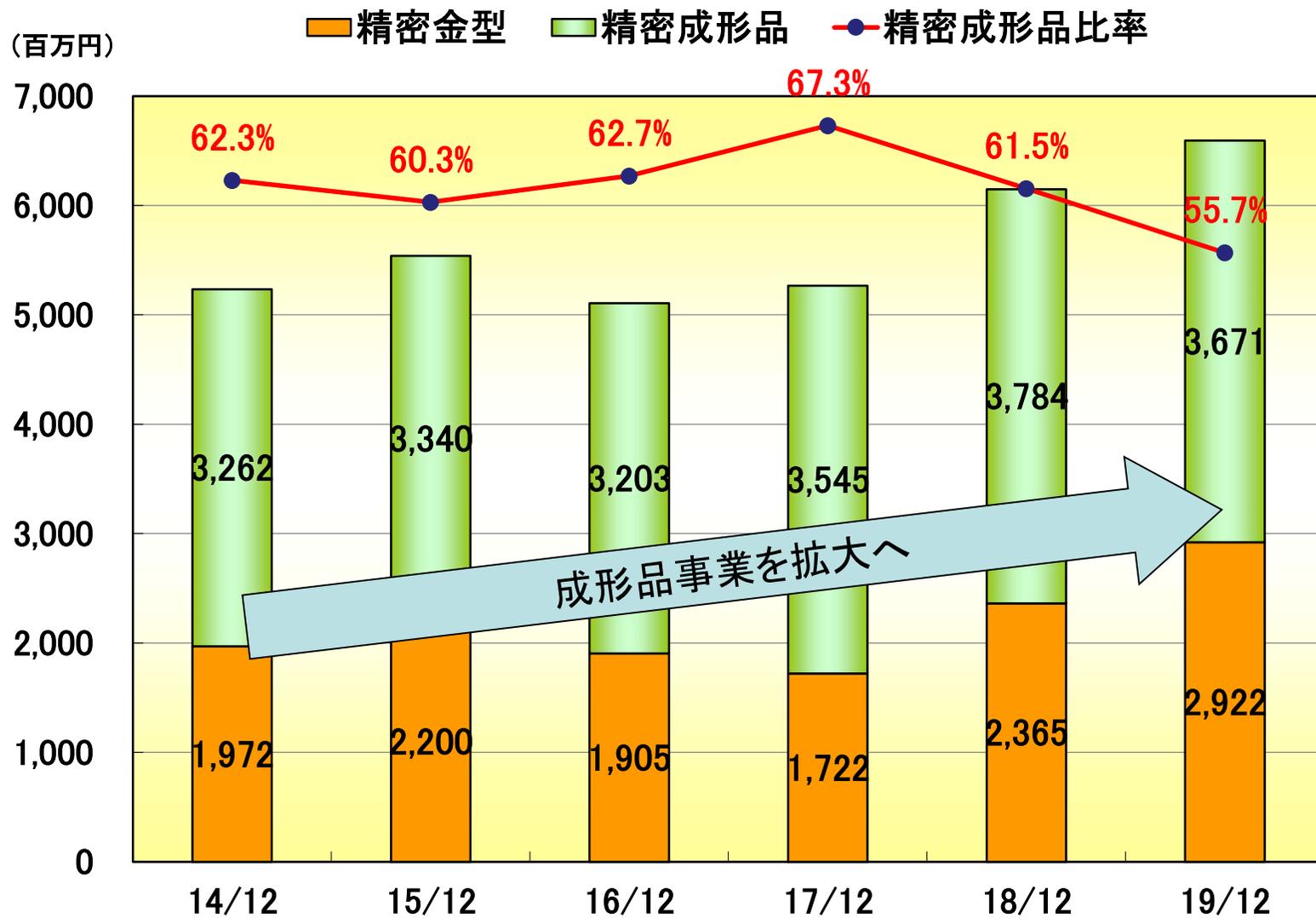
ご参考

1. 事業別・製品分野別・地域別戦略
2. 不二精機グループ拠点のご紹介
3. 主要製品（精密金型、精密成形品）



セグメント別売上高推移(連結)

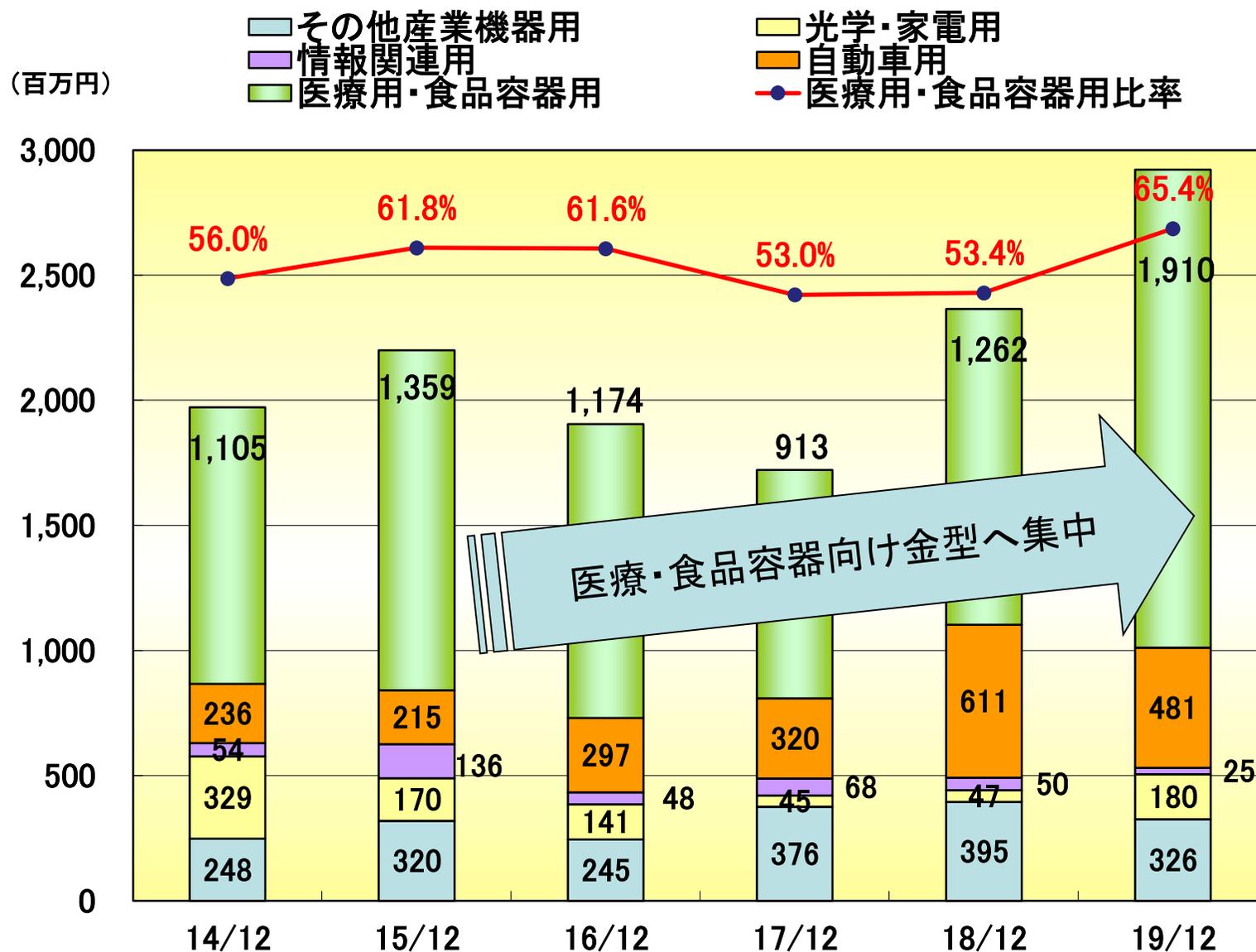
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



精密金型事業 / 分野別売上高推移(連結)

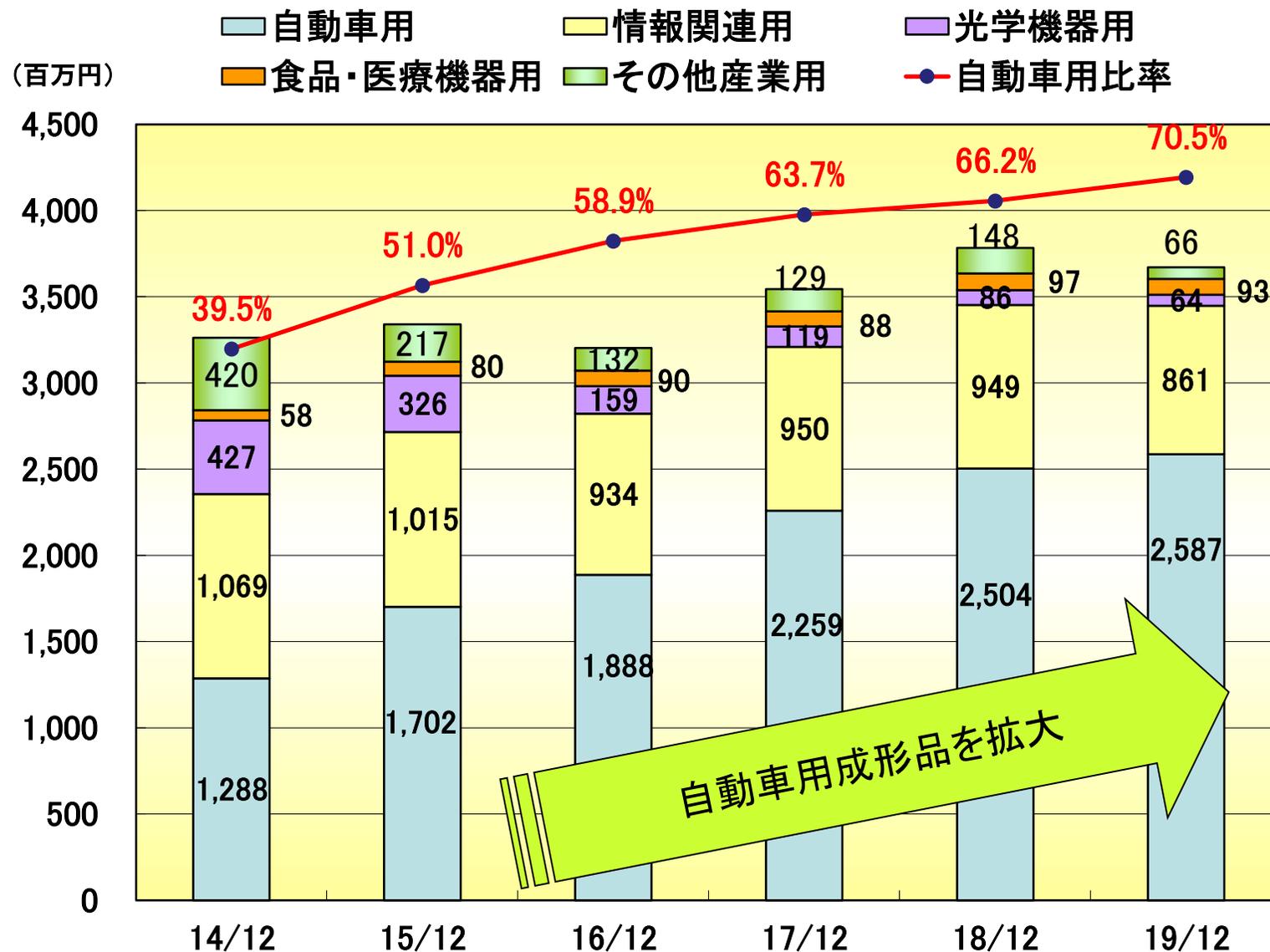
PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI



精密成形品事業/分野別売上高推移(連結)

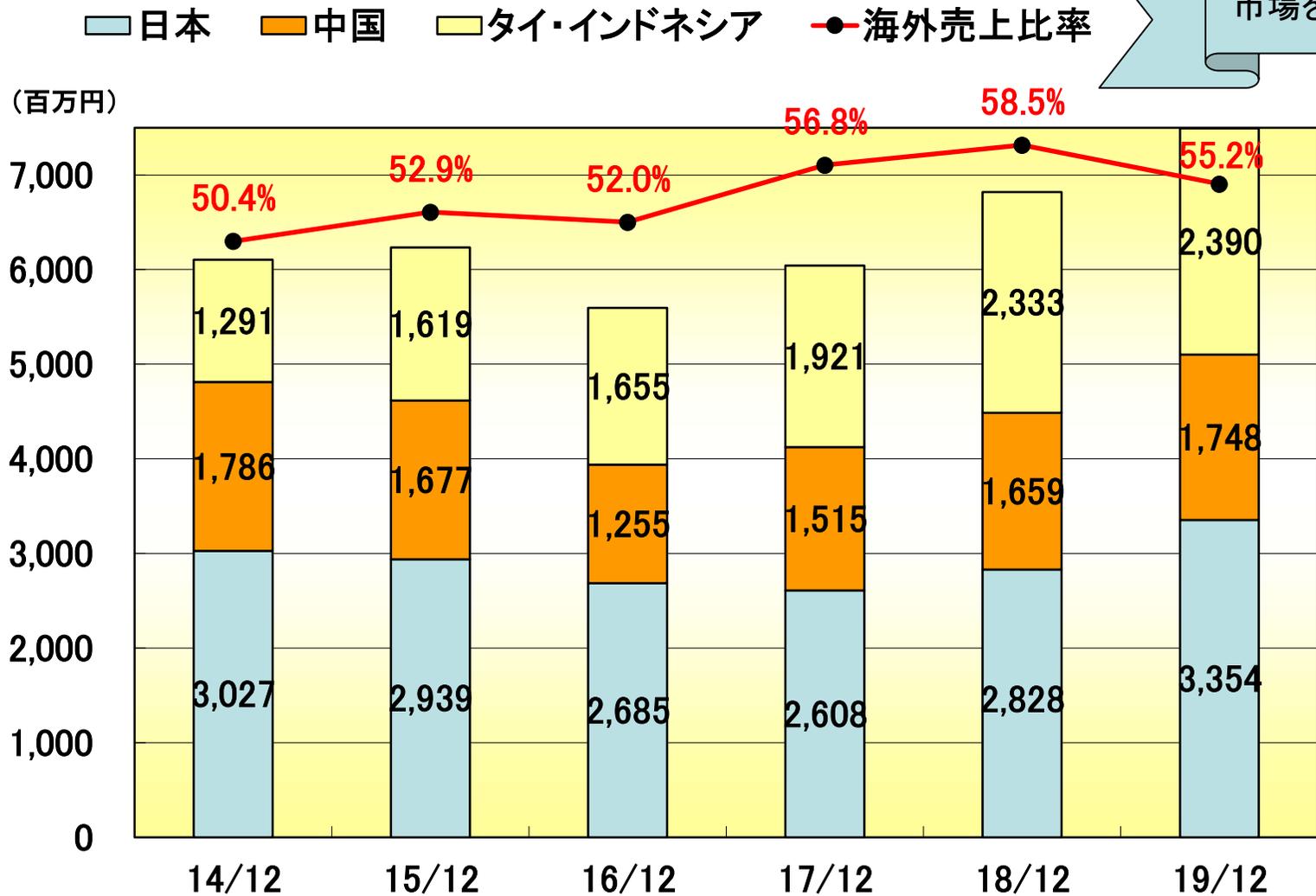
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



地域別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

東南アジア
市場を拡大



(グループ内売上含む)

不二精機グループ 拠点のご紹介

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

不二精機グループ 507名

国内勤務者125名

金型事業

生産拠点2工場

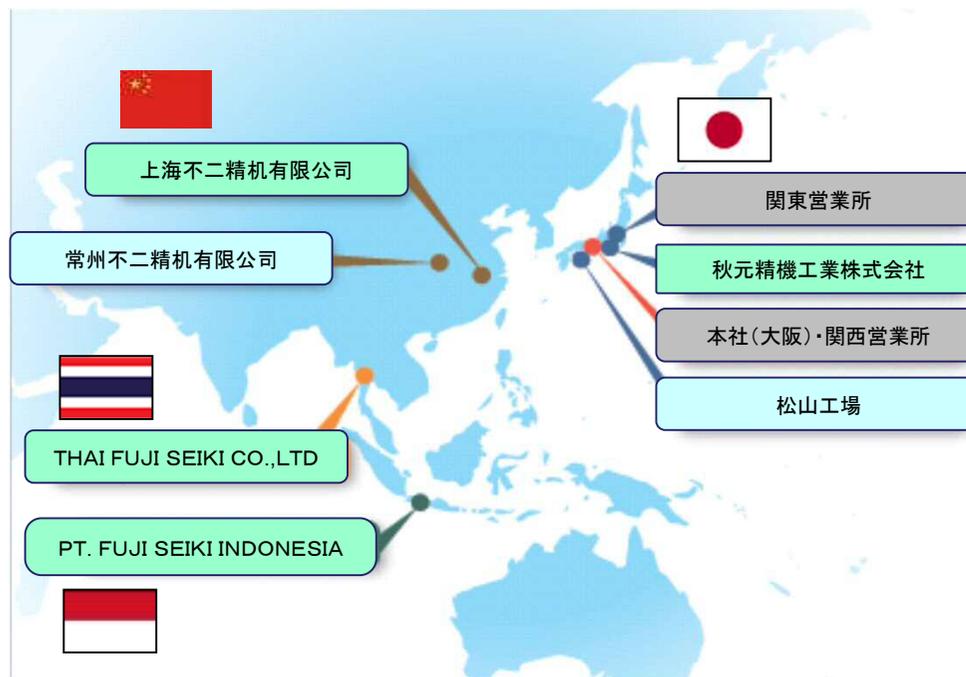


■松山工場

117名



■常州不二精机有限公司



営業拠点(国内)

2拠点



■本社(大阪市)
関西営業所



■関東営業所(船橋市)

成形事業

生産拠点4工場

20名



■秋元精機工業株式会社

69名



■上海不二精机有限公司

109名



■THAI FUJI SEIKI CO., LTD.

87名



■PT.FUJI SEIKI INDONESIA

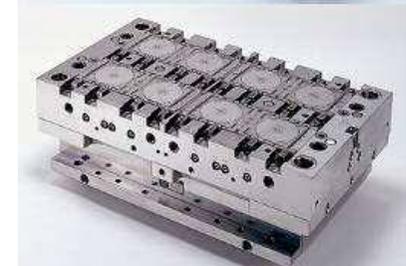
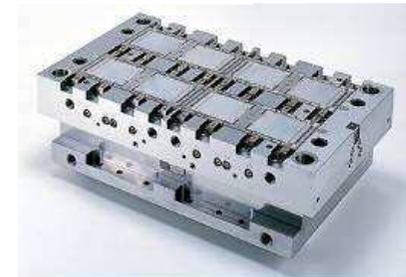
医療機器用金型



食品関連金型



情報関連金型 など



主力の自動車関連部品

